

【保護者向け】児童発達支援評価表

利用者 16名 回答者 12名 回収率 75%

療育ルームオーロラ

記載日:令和3年度

公表日:令和4年4月1日公表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制設備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				十分過ぎるほどに活用させてもらっています。伸び伸びと活動できている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	75%	25%			職員の数が少なくなったので先生の負担が大きいのかなと思います。配置数は適切だが、専門性については、それ程高くはなさそうな感じがする。。個別での関わりなので子供に合った支援をしてもらえる。
	③	支援空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				子どもは空間把握しています。フットなのでつまづくことはない。
	④	支援空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%			きれいで清潔です。
適切な 支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	92%	8%			客観的に分析がなされているかについては疑問を感じる。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「(児童発達支援の提供すべき支援)」の「(本人支援及び移行支援)」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83%			17%	子どもは大きく成長できました。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%			8%	来ています。支援計画の対応がなされているかははっきりしない。計画に沿って楽しめるように毎回してもらっている。
	⑧	活動プログラム iii が固定化しないように工夫されているか	100%				季節ごとのプログラムがあり、固定化はしていません。課題は同じでも達成した中身が次の段階に行き、それで終わらないのが良い。
保護者への 説明責任等	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				説明を受けました。
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	83%	85%		8.50%	支援内容があまりにも抽象的で具体性がなく分かりにくい。
	⑪	保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング iv 等)が行われたか	66%	17%		17%	多分OK。行われていないように思う。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	83%	17%			毎回のやり取りの中、相談に乗ってもらっています。保育園とのやり取りが無いのでそのあたりは改善されると良いと思います。何でも気軽に聞ける雰囲気があります。課題についてあまり話すことがないので分からない。他にも通院の病院があり、指摘されたことや今後やった方が良いことなどに関して伝えることによって、共通理解ができた。

	⑬	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言の支援が行われているか	92%	8%				いつもアドバイスをもらっています。こちらから問いかけない限りない。
	⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%				8%	
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報の伝達のための配慮がなされているか	100%					情報が伝達しやすい環境。
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	67%	8%	8%	17%		見ていない。
	⑰	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	92%				8%	丁寧な対応をしてくれます。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	68%	16%			16%	
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42%	25%	8%	25%		出入口が近いので安心しています。
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	82%	9%			9%	子どもに合わせた丁寧な指導のおかげで毎回行く前からご機嫌です。いつも嬉しそうです。嫌がることなく「療育へ行こう」と言う。楽しみに感じる。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	92%				8%	身体の弱い子の拠り所になっています。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、活動の目的などこの部屋で何をするかが分かり易くする。
- ii 「児童発達支援」は、利用する子どもの、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関する支援計画の情報を通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質の向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意点などを記載する計画のことで、これは、児童発達管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、支援の中で、一定の目標もって行われる活動のことで、利用児の障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施される事が想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害を踏まえた褒め方等を学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」に「○」して頂き「ご意見」も記入ください。